

第1章

村上市のすがたと まちづくりの課題



1. 村上市の現状

まちづくりの課題や今後のまちづくりの方向性を検討するため、まずは私たちが生活する村上市の実態を整理します。

(1) 人口推移

- 着実に進む人口減少、世帯数の増加は鈍化傾向。

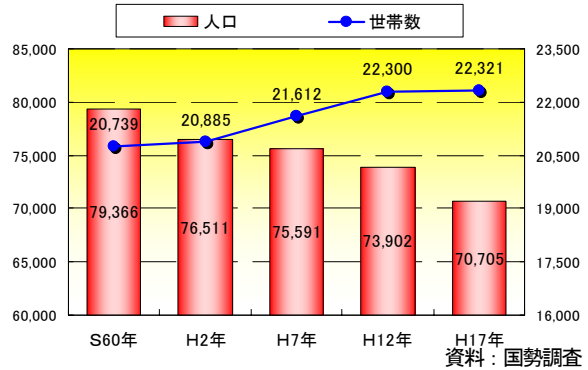


図1-1-1. 人口・世帯数の推移

- 山間地や市街地中心部では人口が減少、市街地縁辺部などでは人口が増加。

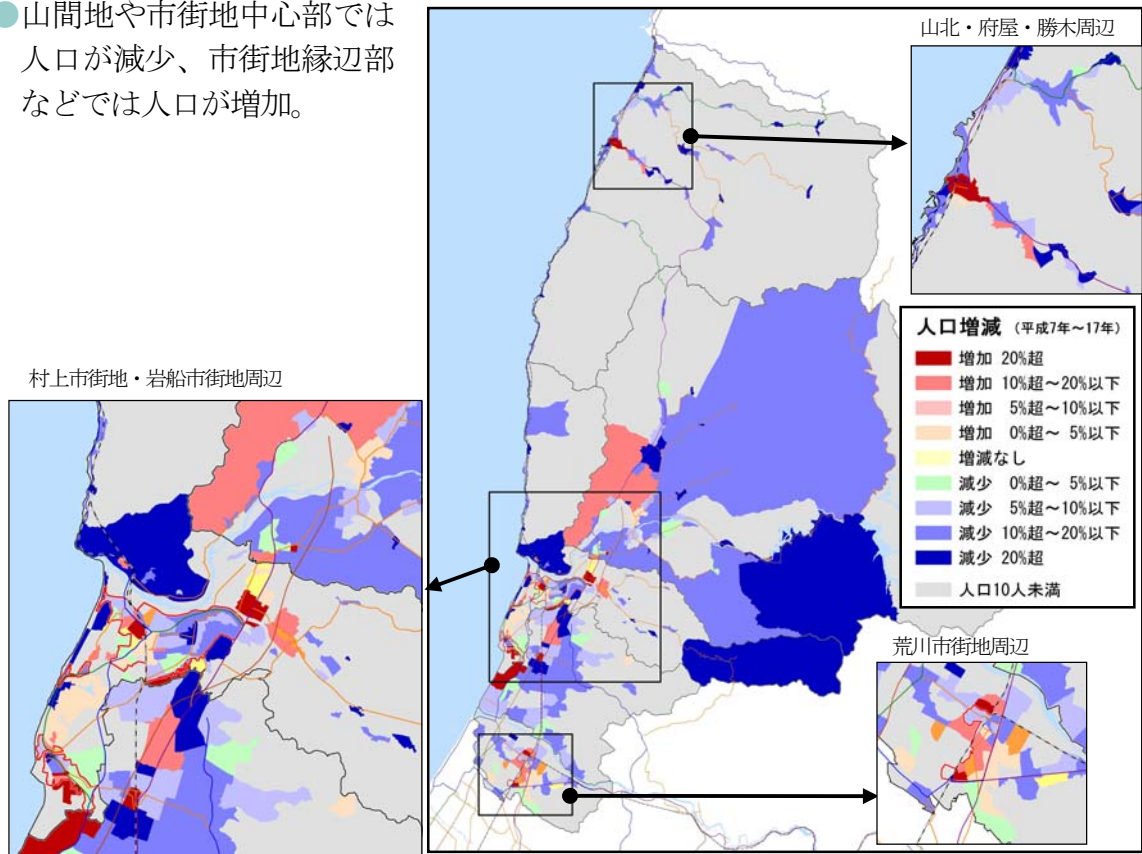
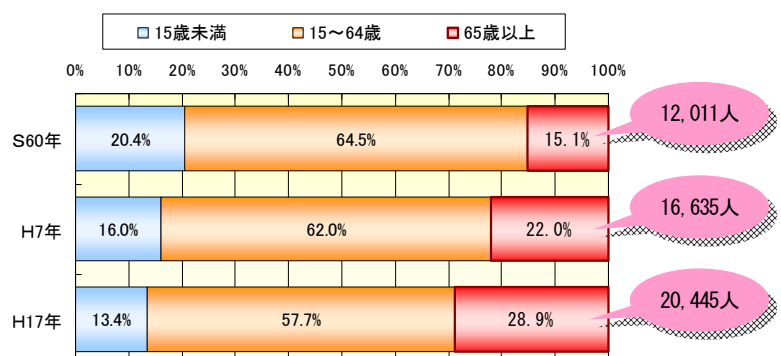


図1-1-2. 地区別人口増減

(2) 高齢化

- 急増する高齢者数、H17現在 28.9%。



3 図1-1-3. 年齢別人口比率の推移

●特に山間地で深刻な高齢化。

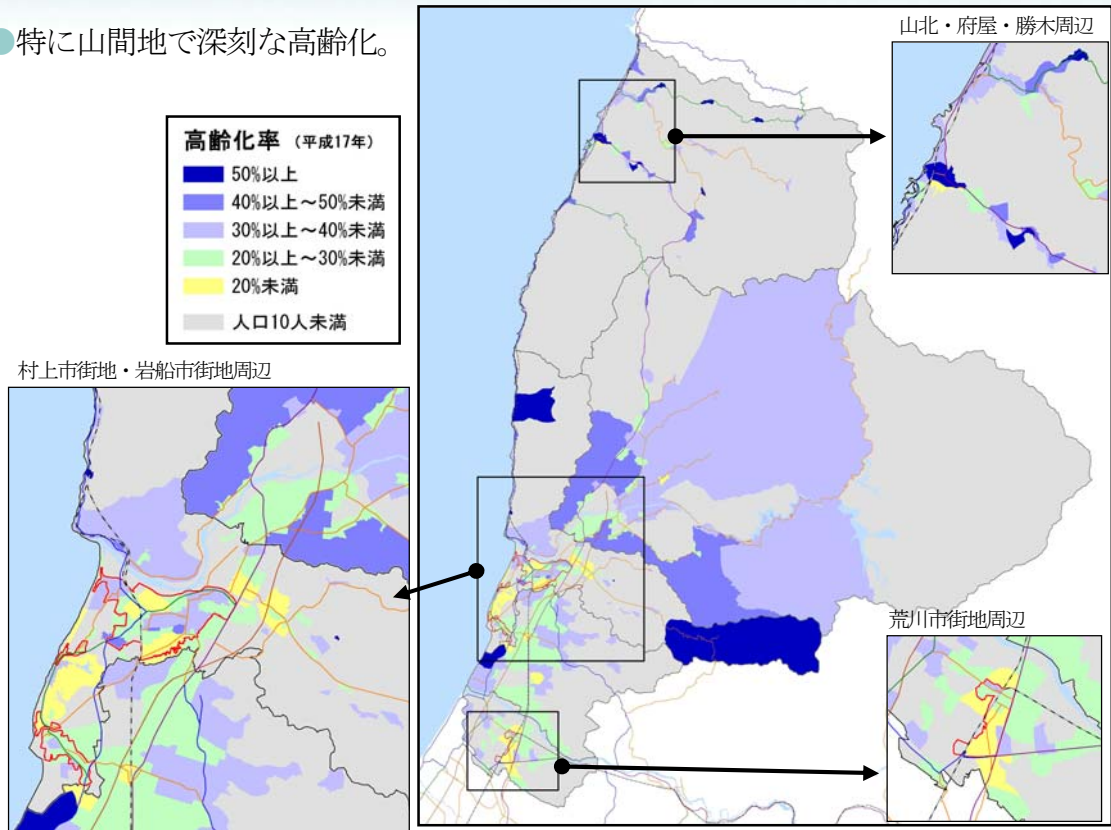
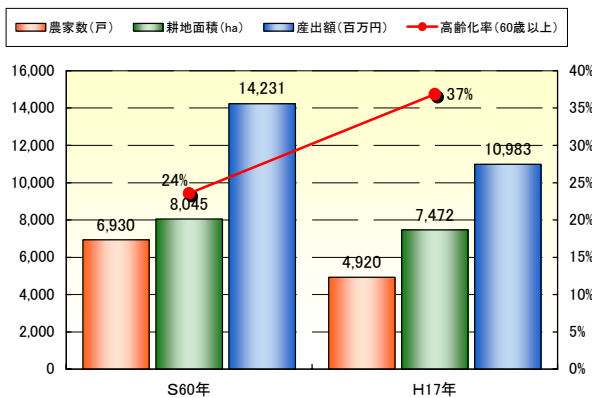


図1-1-4. 地区別高齢化率

資料：都市計画基礎調査

(3) 産業構造の変化

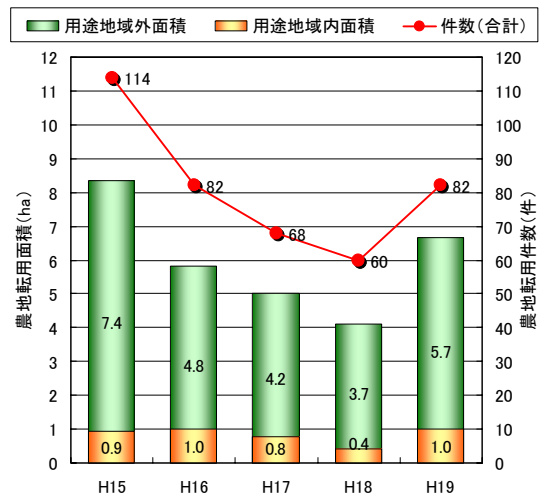
●農家数と農業産出額の減少、農業従事者の高齢化が進む。



資料：世界農林業センサス、生産農業所得統計

図1-1-5. 農家数、耕地面積、農業産出額の推移

●用途地域外での農地転用が圧倒的に多い。



資料：都市計画基礎調査

図1-1-6. 農地転用件数、面積の推移

- 製造業従業者数、事業所数、出荷額ともに減少。

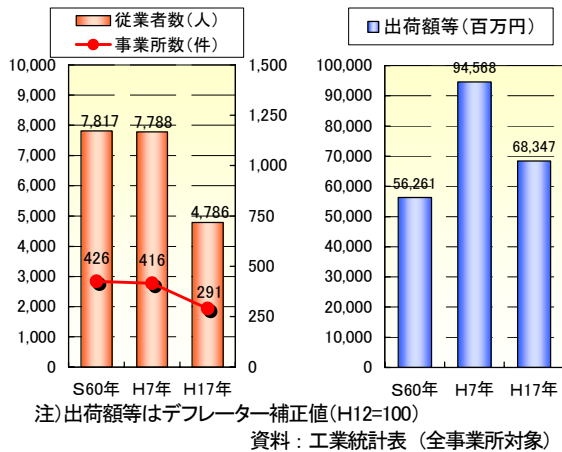


図1-1-7. 製造業従業者数、事業所数、出荷額等の推移

- 小売業店舗数が大きく減少。

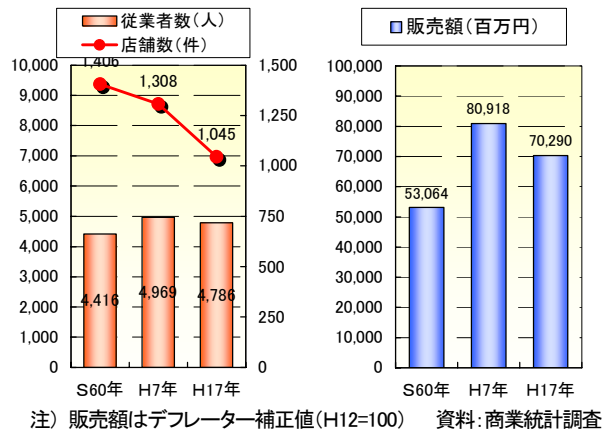


図1-1-8. 小売業従業者数、店舗数、販売額の推移

(4) 市民生活

1) 働き場

- 市内他地域から村上地域への就業依存が大きい。
村上市外へ5,100人が就業。

【村上市外への流入】	
村上市から市外へ流出する就業者	: 5,141人
市外から村上市へ流入する就業者	: 3,331人

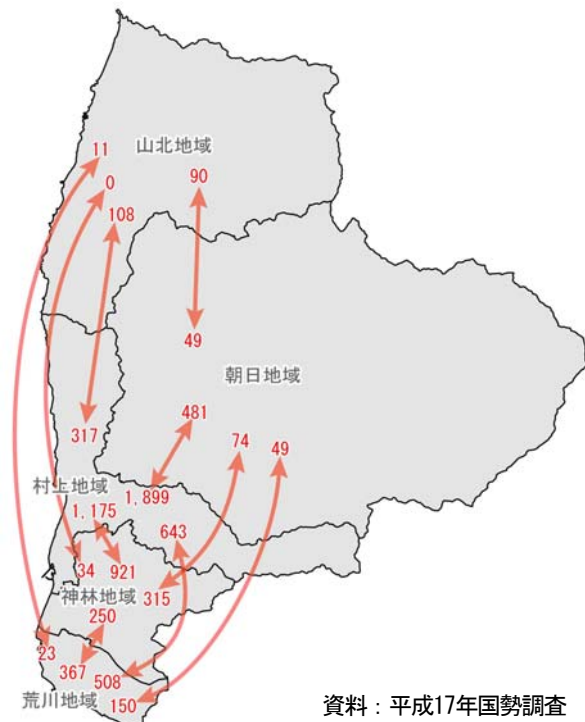
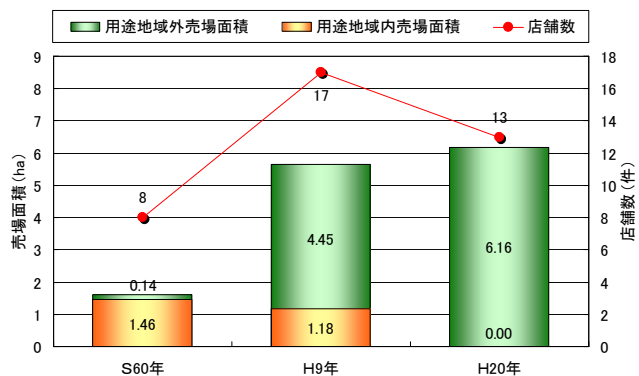


図1-1-9. 村上市内の就業による地域間移動の状況

2) 買物

- 用途地域外での大型店の売場面積が大きく増加。



資料: 第一種・第二種大規模小売店舗台帳、大規模小売店舗一覧
図1-1-10. 大規模小売店舗の売場面積、店舗数の推移

●村上、荒川ともに市街地部での買い物利用が大きく減少。

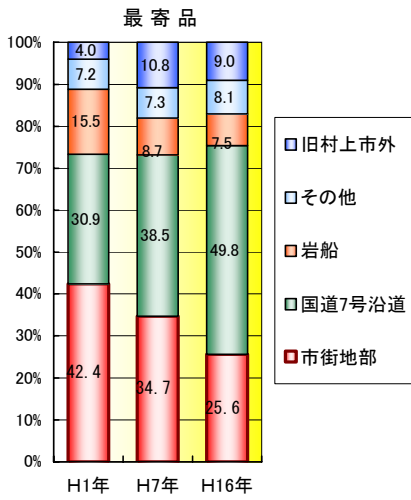


図1-1-11. 村上地域の買い物利用割合の推移

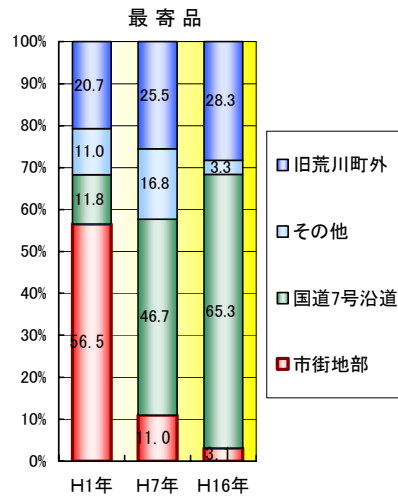


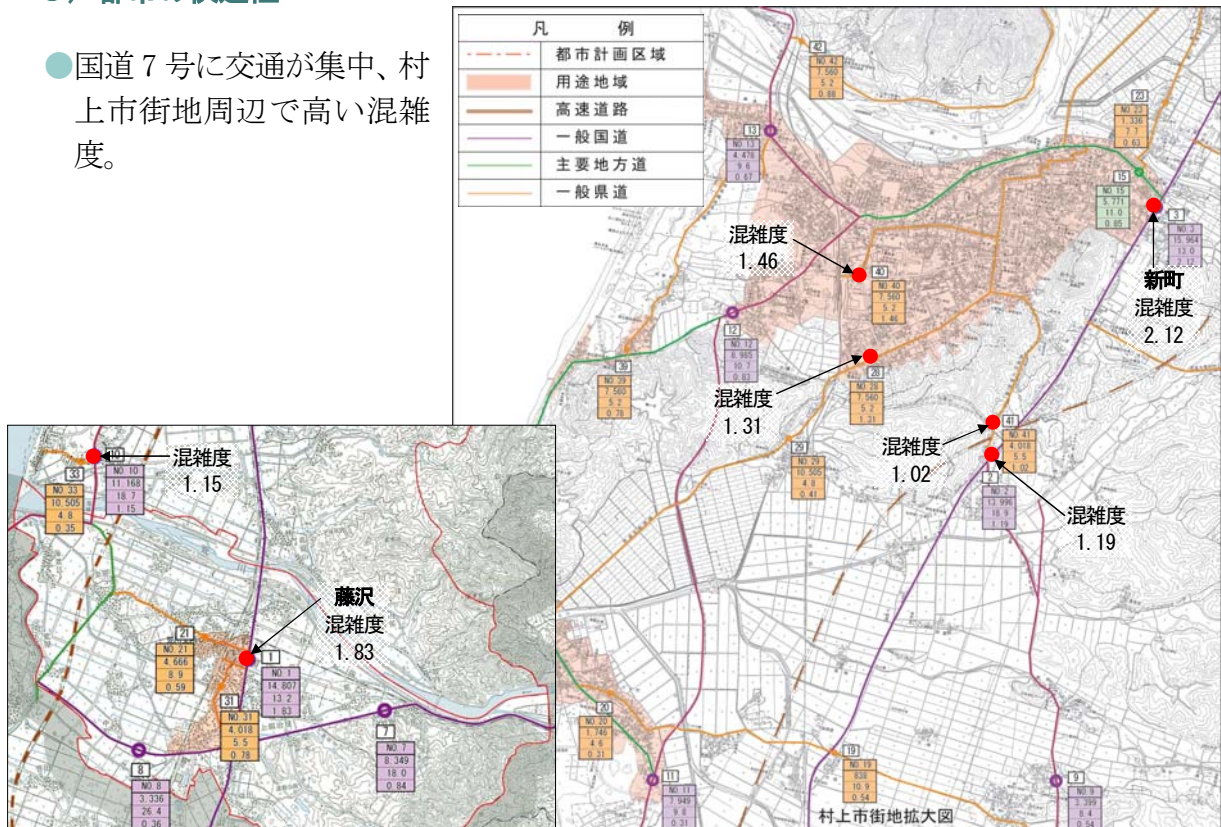
図1-1-12. 荒川地域の買い物利用割合の推移

最寄品：
日用雑貨、生鮮食
料品（肉・魚・野
菜）、一般食料品
（菓子・パンを含
む）

資料：新潟県広域商圈動向調査、
中心市街地に関する県民意識・消費活動調査報告書

3) 都市の快適性

●国道7号に交通が集中、村上市街地周辺で高い混雑度。



資料：都市計画基礎調査

図1-1-13. 村上市街地周辺の道路混雑度1.00以上の区間

道路混雑度：「交通量」を「交通容量」で除した値

- 都市公園等の一人当たり面積は新潟県平均を大きく上回る。なお、これは神林地域の「お幕場森林公園(約83ha)」によるところが大きい(全体整備量の約56%)。

表1-1-1. 都市公園等の開設面積

	都市計画公園等		その他都市公園等		都市公園等 合計		総人口 (人)	1人当たり公園面積 (㎡/人)
	箇所 (件)	面積 (ha)	箇所 (件)	面積 (ha)	箇所 (件)	面積 (ha)		
村上市	6	30.20	11	117.49	17	147.69	70,705	20.9
村上地域	4	10.09	6	12.47	10	22.56	30,685	7.4
荒川地域	2	20.11	—	—	2	20.11	11,105	18.1
神林地域	—	—	4	98.22	4	98.22	10,135	96.9
朝日地域	—	—	—	—	—	—	11,489	0.0
山北地域	—	—	1	6.80	1	6.80	7,291	9.3
新潟県	616	1681.93	1,322	678.86	1,938	2360.79	2,431,459	9.7

資料：新潟県の都市計画<資料編>H19年4月、H17年国勢調査

- 県内水準を上回る汚水処理普及率。なお、村上市街地・荒川市街地の一部は未整備である。

表1-1-2. 汚水処理普及率(平成20年3月31日現在)(%)

	下水道普及率	その他汚水処理普及率	汚水処理合計普及率
村上市	59.0	22.6	81.6
村上地域	51.4	15.6	67.0
荒川地域	66.7	9.3	76.0
神林地域	46.8	53.2	100.0
朝日地域	73.2	25.8	99.0
山北地域	73.2	23.9	97.1
新潟県	62.8	13.9	76.7
全国	71.7	12.0	83.7

資料：新潟県都市局下水道課資料編(HP)

4) 活力

- 県平均に比べ都市計画道路の整備水準が低い。

表1-1-3. 都市計画道路の整備状況

	路線数	総延長	完成済延長	完成率 (%)	事業中延長	未着手延長	未着手率 (%)
村上市	31	72,770 m	19,634 m	27.0	27,813 m	27,326 m	37.6
新潟県全体	825	1,822.9 km	913.5 km	50.1	202.5 km	631.4 km	34.6

資料：新潟県の都市計画<資料編>H19年4月

※平成21年度現在整備中の日本海東北自動車道(日東道)及びそのアクセス道路(22,190m:総延長の約30%)が完了すれば、完成率は大きく向上する。

- 公共交通網から外れる集落が存在。

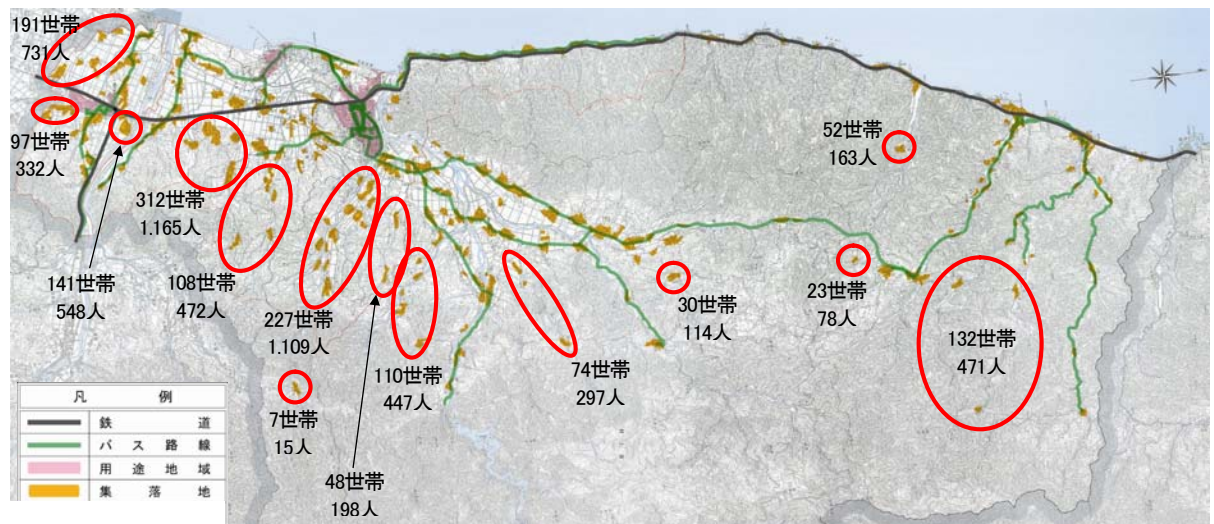
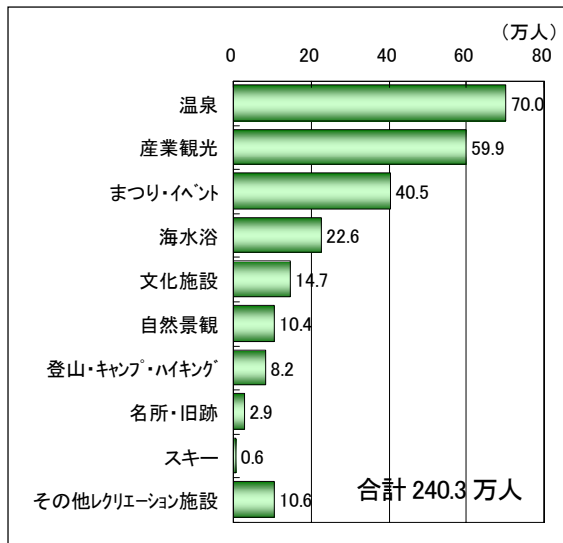


図1-1-14. 公共交通網と集落の分布

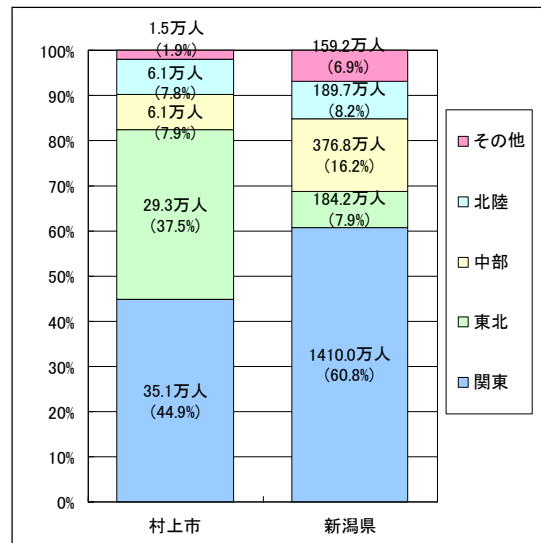
資料：都市計画基礎調査

- 村上市の主な観光入込みは温泉、産業観光、まつり・イベント。出発地としては関東地方と東北地方からの観光客が多い。



資料：都市計画基礎調査

図1-1-15. 村上市の目的別の観光入込数 (H19)



資料：新潟県観光動態の概要

図1-1-16. 村上市の県外観光客の出発地割合 (H19)

2. 住民意向調査

平成 20 年に実施したアンケートの結果から、都市づくりに関する市民の意向を整理します。

■ アンケート実施概要

実施期間	平成 20 年 7 月下旬～ 8 月上旬
対象者の抽出	対象者の抽出：平成 20 年 6 月現在の住民基本台帳から、村上市に居住する満 20 歳以上の市民 5,000 人を無作為抽出
配布方法	郵送で対象者に配布
回収方法	郵送で回収
配布数	5,000 通
回収数	2,054 通（回収率：41%）

（1）市民の村上市に対する意識とは

【設問】あなたは、村上市が住みやすいと感じていますか。（1つ選択）

○約 7 割の市民が住みやすさを実感。

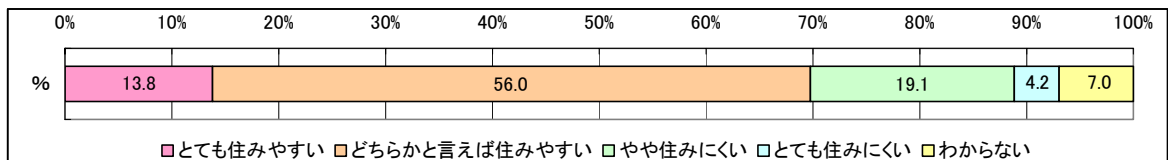


図1-2-1. 村上市の住みやすさ

【設問】住みやすい（住みにくい）と感じる理由はなんですか。（3つまで選択）

○住みやすい理由は、良好な自然環境に関するものが多く、住みにくい理由は、都市機能の不足に関するものが多い。

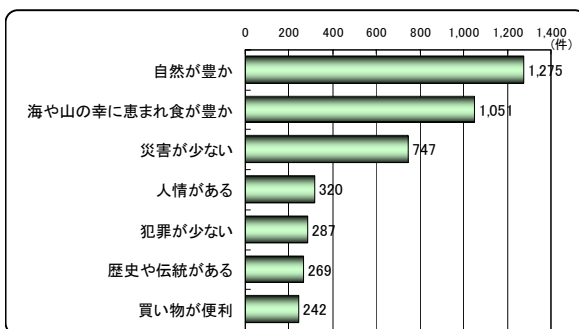


図1-2-2. 住みやすいと感じる理由

注) 上位から抜粋

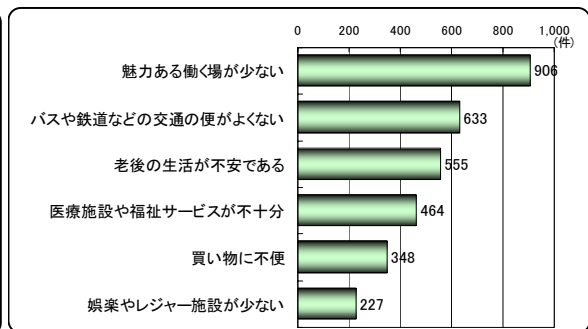


図1-2-3. 住みにくいと感じる理由

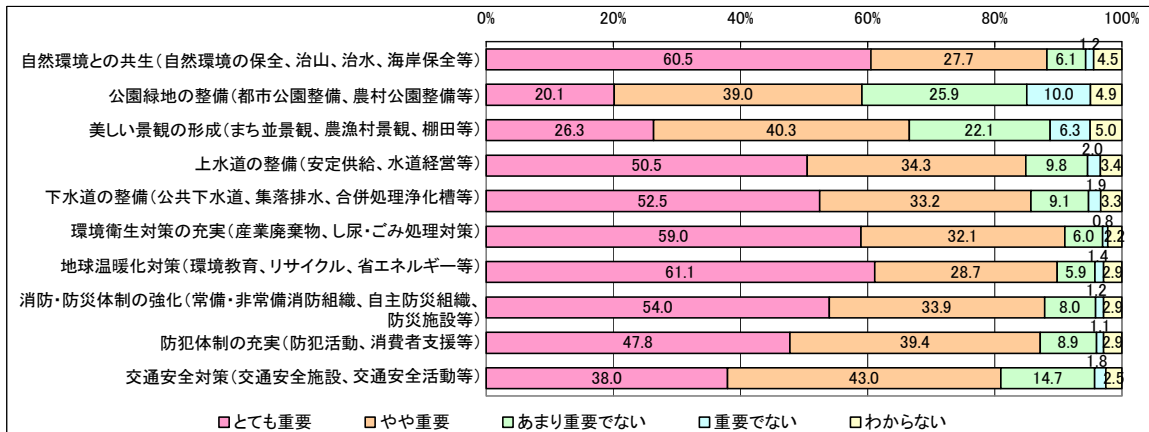
注) 上位から抜粋

(2) まちづくりに関する施策の重要度

【設問】あなたは、今後村上市が発展するために何が重要とお考えですか。（それぞれの項目で1つ選択）

- 「自然環境との共生」、「環境衛生対策」、「地球温暖化対策」、「消防・防災」、「防犯体制」、などに対する重要度が相対的に高い。

【生活環境分野】



【都市基盤分野】

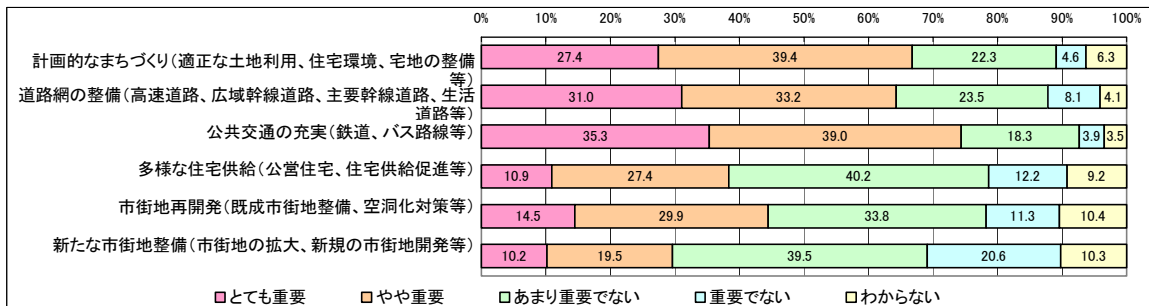


図1-2-4. 項目別重要度

(3) 市民と行政の協働のあり方

【設問】今後、まちづくりに関する検討会など、行政と協働する機会があった場合、あなたは参加したいと思いますか。（1つ選択）

- 「まちづくりに関する情報を知りたい」が最も多く、「アンケートやインターネットであれば意見を述べたい」が続く。

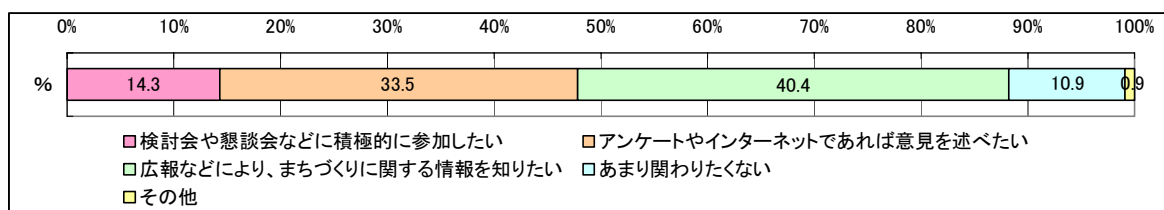


図1-2-5. まちづくりへの参加意欲

(4) これからの村上市のまちづくりに必要な考え方

【設問】 これまでの拡散的な市街化を進めるまちづくりから、コンパクトなまちづくりへの転換が求められています。あなたは、これからの村上市のまちづくりに必要だと思う考え方について選択して下さい。(1つ選択)

○「…便利で効率の良いコンパクトなまちを目指す」とする意見が約8割を示す。

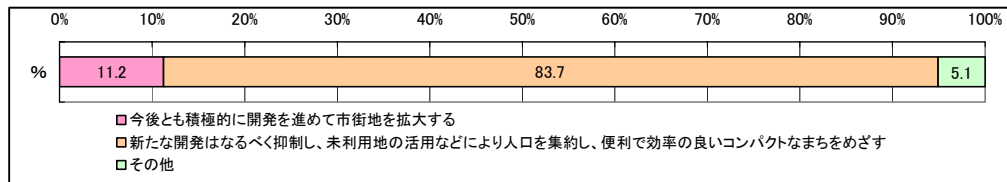


図1-2-6. コンパクトなまちづくりについて

【設問】 車社会の進展にともない郊外型の大型店の立地が進んでいますが、あなたはこのことについてどう思いますか。(1つ選択)

○「郊外の店舗は…買物が便利である」が最も多く、次いで「…中心市街地が衰退する」が続く。

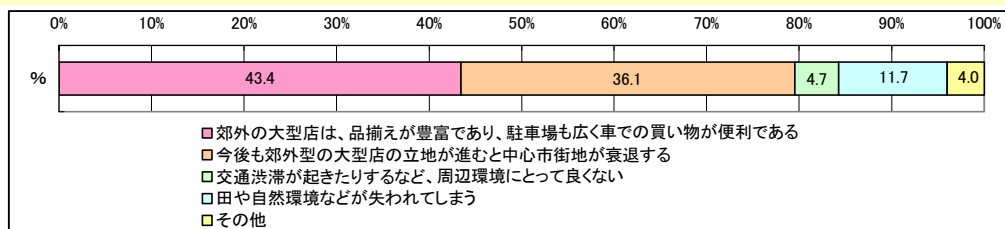


図1-2-7. 郊外型大型店に対する意見

【設問】 あなたは、これからの「土地利用」について、何が重要だと思いますか。(3つまで選択)

○「まち中の空き地や空き家の有効活用」が最も多く、「優良農地の保全と遊休農地の活用」が続く。

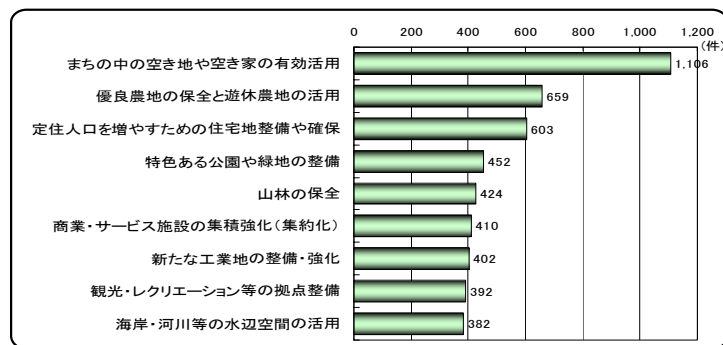


図1-2-8. 土地利用で重要なこと

【設問】 あなたは、おもに市街地の建物利用について何が重要だと思いますか。(3つまで選択)

○「建物の景観やまち並を美しくする」、「歴史的構造物を保全・活用する」といった選択が多い。

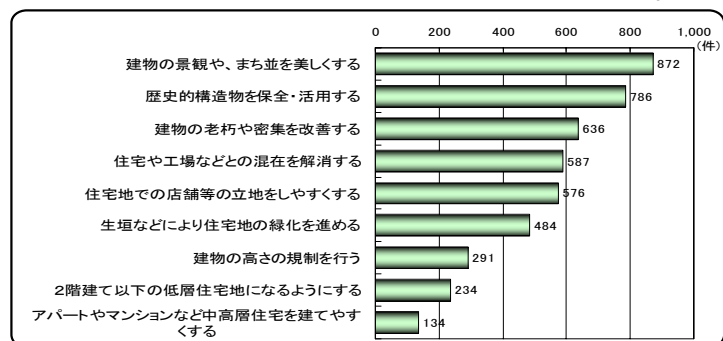


図1-2-9. 市街地の建物利用で重要なこと

3. まちづくりの主要課題

「村上市の現状」と「住民意向調査」の結果などをもとに、村上市のまちづくりにおける主要な課題を設定します。

まちづくりの方向性に関する課題

●定住人口の維持確保

- ・ 地域活力の維持を図るための雇用の場の創出など、人口減少を抑制するまちづくり
- ・ ライフスタイルの多様化に合わせた住宅地需要や余暇活動需要に配慮した定住意識を向上させるまちづくり

●高齢化が進む中での快適な地域社会の形成

- ・ 将来に不安を抱かない、高齢者が安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

●活力ある地域社会の形成

- ・ 村上の地域資源を活かした、市民の心と経済が元気なまちづくり

●豊かな自然の保全と活用

- ・ 村上の豊かな自然環境を守り、育て、活用して心地良い生活空間づくり

●市民と行政の協働のまちづくり

- ・ まちづくりの目的や課題を市民と行政が共有し、互いに理解し支え合うまちづくり

個別具体の課題

●旧来の市街地における空洞化への対応

- ・ 空店舗、空地の有効利用
- ・ まちなか居住の推進
- ・ 町屋などの歴史的資源や地域文化を活かした賑わいの創出

●集落の活力維持

- ・ 人口と地域活力の維持（山間地の集落地における維持・持続のための方策検討）
- ・ 良好でゆとりある生活環境の保全（良好な生活空間や景観の形成）
- ・ 中山間農地や山林の保全、市街地との交流を視野に入れた歴史文化資源等の活用方策の検討

●計画的で効率的な土地利用誘導

- ・ 用途地域外縁部での開発進行への対応（開発の適切なコントロール、スプロール防止）
- ・ 産業構造変化にともなう土地利用転換への対応（前田製管跡地）
- ・ プロジェクトを踏まえた計画的な土地利用誘導（日東道 IC 周辺の土地利用誘導）
- ・ 商業・公共施設郊外立地への対応（立地場所の適切なコントロール）
- ・ 用途地域未利用地の利用方針（魅力的なコンパクトシティ形成に資する有効な土地利用、市街地内の貴重な緑地資源の保全活用といるおいある環境形成、若者定住のための都市機能）
- ・ 密集市街地における生活の安全性、快適性の改善

●市民の利便性・安全性を重視した都市施設配置と適切な維持管理

- ・ 市民生活の利便性に配慮した公共施設の配置検討
- ・ 生活基盤施設の防災性・安全性の向上
- ・ 決定後 20 年以上未着手の都市計画道路（「長期未着手路線」）の廃止・見直しなどの検討
- ・ 若者も楽しめる娯楽、レクリエーション機能の整備充実
- ・ 財政が厳しい中での既存施設の効率的・効果的な維持管理

●市民の足となる公共交通など、移動環境の再編

- ・ 集落地の市民が容易に都市機能の恩恵を享受できる移動手段の構築（集落と市街地を円滑に結ぶ公共交通網の検討）
- ・ 鉄道やバス路線の利便性向上のための検討
- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインなど、交通弱者でも快適に移動できる道路空間の見直し
- ・ 安心、安全、快適で魅力的な歩行環境の形成（街灯・防犯灯、沿道緑化、遊歩道など）

●市民と行政の協働によるまちづくりの推進

- ・ 支えあって市民が主体的にまちづくりに参加できるような仕組みづくりの検討